

平田ロータリークラブ 週報

発行日 毎週木曜日

平成19年 2月15日

No.1598

率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド
第2690地区ガバナー 新 宮 彦 助

↑
事
務
局
↓

島根県出雲市平田町2280-1
平田商工会議所2F TEL 0853-63-3232
FAX 0853-63-5365
I P 050-5204-5816
A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局
E-mail hiratarc@hit-5.net

会 長 加藤喜久 副会長 田中久雄
幹 事 荒木 貫 会 計 金田卓也

例会プログラム

例 会	卓 話 者	演 題
第1598回	会員 藤井 巖	地球温暖化雑記
第1599回	医学博士 羽根田紀幸様	モンゴル医療ボランティア
第1600回	会員 木佐彰三	書画の楽しみ

出席報告

会 員 数	出 席 者 数	欠 席 者 数	出 席 率	前 回 補 正 率
48	40	8 (2)	86.96	91.30

欠 席 者 大島卓・松浦・石橋・三代・原光・持田 (石倉・石原恵)

幹事報告

1. 休 会

○松江南RC 3/19(月) 定款により

ビジター受付 12:00~12:30 松江東急イン1階ロビー

2. 地区ローターアクト年次大会のご案内

日 時 5/19・20 (土・日)

会 場 鳥取砂丘周辺 (鳥取RACホスト) ご希望の方は事務局まで

3. 万田の郷より「ほのぼの通信」16号をいただきました。

ス マ イ ル

荒木 今日、スピーカーの急な病欠で講師さんの代役をプログラム委員長さんをお願いして、ありがとうございました。

石原輝 本日よりの家庭集会、よろしくお願ひ致します。

平野 三越百貨店に、ケヤキの商品を展示してもらって。

飯塚大 3/16~20 第3回普陀山石段マラソン交流へのご参加、ご支援よろしくお願ひ申し上げます。

3月1日例会受付当番

土 江 昭 彦 ・ 園

裕 ・ 園 山 繁

★松江南クラブ (月) 3/19

★出雲中央クラブ (月)

★松江しんじ湖 (火)

★出雲クラブ (火)

★松江クラブ (水)

★大社クラブ (水)

★平田RAC (第1・3水)

★松江東クラブ (木) 2/22

★出雲南クラブ (金)

会長挨拶

子供たちは今頃学校で給食の時間と思います。学校給食といいますと、ちょうど私が小学生のころスタートしました。昭和20年代の時代です。コッペパンにマーガリンを塗り、粗末な食器の中の真っ白な脱脂粉乳が毎日のメニューでした。先生からは給食を残さないよう徹底して叩き込まれました。

日本の学校給食はGHQ（連合国軍総司令部）のマッカーサー総司令官の号令で始まりました。当時は戦後の復興期で食糧事情はととも悪く、満足な食事が摂れず栄養不足で、鼻水をたらしてみんなが痩せていて、今みたいな肥満児はほとんどいませんでした。だから学校給食のスタートは画期的なことであつたと思います。

見違えるように豊かになった21世紀の日本では、朝食も摂らずに登校して授業に集中できない子供や、偏食による肥満傾向児がドンドン増えているそうです。そこで地域の食材を取り入れたり、バランスの取れたメニューをそろえたりといろいろと工夫され、学校では先週の例会で述べましたように食育教育にずいぶん努力をされているようです。

ところが、今この給食費の未納問題が大きな社会問題となっています。文科省の全国調査の結果、平成17年度の未納額が総額でなんと22億円を超えることが判明、また未納者数は9万9千人（未納率1パーセント）。これは児童、生徒約4万人分の給食費の1年分に当たります（島根県では1,248万円、約560人で未納率0.9パーセント）。経済的に余裕がありながら払わない保護者が多いことから、法的措置を検討する自治体が増えているそうです。

このようなモラルの低下した親がだんだんが増えるようでは、明日の日本を背負う子供たちがどうなるのかとても心配な気がいたします。このような問題の背景にある今の親の風潮を根本的に解決するのはなかなか難しく、結局ツケは子供に回り、親は先生を尊敬せず、先生は親を怖がっている……。いま子供たちの心身ともに健やかな成長のため学校・先生と保護者だけではもう解決できない問題がこれ以外にも山積しているようです。そのためにこのほど出雲市では、地域住民も一緒になって子供たちのために学校教育を積極的に支援・協力しようと市内全小中学校に住民の代表と保護者で組織する地域学校運営理事会（学校応援団）が設置されました。私も平田小学校の理事に任命されましたので些かでもお役に立つよう頑張りたいと思っております。

スピーチ

地球温暖化雑記

会員 藤井 巖

この頃地球温暖化という言葉がよくマスコミに登場する。それは温暖化という現象が、地球自体の自然な流れではなく、この二百年ほどの人間活動に起因することがわかって来たためである。

これまで地球は、暖かくなったり寒くなったり変化し続けて来た。この百万年ほどの間にも、およそ十万年単位で寒暖をくりかえしている。それも寒い期間が八万年で暖くなる期間が二万年だという、ゆっくり寒くなり急激に氷がとけはじめ暖かくなっているという。今は一万五千年前からはじまった暖かい期間である。つまり縄文時代のはじまり以来である。この期間は大体、千年に一度の割合で地球は暖かくなって来た。このことは、環境考古学会等の発達で近年明確になっている。

ところが、この二百年、産業革命以来、地球は、百年に一度という早さで温かくなって来た。それどころか、学説によっては、今世紀中に、五度も六度も温度上昇のおそれがあると言う人もいる。

地球環境の変化で、絶滅した動物はマンモスをはじめ、オオイノシシやウマの一種のスタクオンなど数知れない。それらは地球の温暖化がはじまる数万年前の出来事である。

植物にしても生態系が環境の変化に対応するには最低でも五百年はかかるといわれる。

人間は百年ほどしか寿命がないから、長いスパンの変化には鈍感であり、私もそんなに真剣に考え毎日をくらししていない。学者によっては人間の遺伝子には、地球的規模の変化に対応する要素がないのではと心配している人もある。そうであれば、温暖化どころか背筋の寒くなる話である。